

あなたのスキルは社会に役立つ

2011年3月11日の東日本大震災発生直後にHack For Japanは発足しました。今後発生しうる災害に対して過去の経験を活かすためにも、エンジニアがつながり続けるためのコミュニティとして継続しています。防災や減災、被災地の活性化や人材育成など、「エンジニアができる社会貢献」をテーマにした記事をお届けします。

第70回

盛り上がる技術系同人活動に乗っかれ! 「Code for 同人誌」活動報告

● Hack For Japan スタッフ 小泉 勝志郎 (こいずみ かつしろう) [Twitter @koi_zoom1](#)

はじめに

```
while (Japan.recovering)  
    we.hack();
```

同人誌。みなさんこの言葉からどういう連想をするでしょうか？ オタク、マンガ、BL、18禁……。そういう想像をする方も多いでしょう。しかし、いま熱くなってきているそれ以外のジャンルがあります。それが技術系同人誌です。

今年のDevelopers Summit 2017では技術系同人誌即売会コーナー「DevBooks」が設置されていますし、技術系同人誌即売会「技術書典」では多くの入場待ち行列ができるほどの盛況でした。プログラミング言語関係の同人誌も多いですがそれだけではありません。自作ハードウェアやその本を出している方もいれば、大昔のハードウェアを徹底的にハックする本を出す方も。

この技術系同人誌のビッグウェーブに乗るしかないでしょ！ということで、同人誌を作成してサークルとして参加してきました。2017年4月9日の「技術書典2」、そして同人誌関係では世界最大のイベントである2017年8月11日の「コミックマーケット」。今回の記事ではその模様をお知らせします。

Code for 同人誌

```
while (Japan.recovering)  
    we.hack();
```

Code for 同人誌。筆者が参加したサークル名、そして本の名前でもあります(写真1)。

内容は「全国各地のCode for ○○」の活動成果をまとめたものです。Code for ○○は全国各地にあ

り、「地域課題をITで解決する」ことを目指しています。Code for Japanのブリゲイドという呼ばれ方もされますが、各団体上下なく独立した組織です。そのため活動内容も多岐にわたり、それぞれが全然違う活動をしています。

表紙のキャラクタはこの連載でも何度か出てきているCode for Shiogamaで作ったキャラクタ「渚の妖精ぎばさちゃん」！

このCode for 同人誌のVol.1を技術書典2で、Vol.2をコミックマーケットに出しました。販売形態は電

▼写真1 Code for 同人誌



盛り上がる技術系同人活動に乗っかれ! 「Code for 同人誌」活動報告

子書籍。どちらもネットから1部500円で購入可能です^{注1}。以降でその内容について説明していきます。

▶ Vol.1

Vol.1は初めての作成ということもあり、手探り感が強いですが、その分バリエーションに富んだ内容となっています。塩竈、沼津、浪江町、新潟、そして同人誌オリジナルという布陣。イベントで一緒に作るタイミングで執筆を依頼し、完成イメージをなかなか持てない中でのスタートでしたが、読み応えある内容に仕上がりました!

●シビックテックとぎばさちゃん

巻頭記事の執筆は宮城県塩竈市で活動するCode for Shiogamaの筆者です。内容は表紙にもなっているぎばさちゃんの誕生までのストーリー、そして人気が出る萌えキャラの作り方の説明となっています。

このポイントは「人気が出る萌えキャラの要素」というほかでは読めないノウハウが入っていること。過去にデブサミのオープンジャムで「萌えキャラ作成ワークショップ」を行った経験も反映した、萌えキャラ作成・運営の虎の巻です。

ほかにも「渚の妖精ぎばさちゃん」誕生までのストーリーでは、東日本大震災後の塩竈の話、そして離島である浦戸諸島でのハッカソン「島ソン」の中からどうやってぎばさちゃんが生まれたのかを書いています。ITからスタートし、ITの枠を超えて活躍するぎばさちゃんのストーリーです。

●Code for Numazuの活動内容を紹介しちゃおう

Vol.1の中で唯一のマンガです! 静岡県沼津市のCode for Numazuは非常に精力的に活動していて、その活動内容は幅広いものです(写真2)。今回はその幅広い活動の中でも「ラブライブ!サンシャイン!!」から派生した活動を紹介していただきました。

「ラブライブ!サンシャイン!!」の舞台は沼津市内浦。まさしくCode for Numazuの活動場所。聖地巡礼に来たアニメファンも多く来ることが考えられ

るので、地元民の理解を深めるために「使っている人のことを考えた聖地マップ」を作った体験談!

●浪江町のいまとフェロシップ

東日本大震災での福島第一原発の事故で全町域が避難対象となった福島県浪江町。Code for Japanにはフェロシップという、メンバーを自治体の職員として派遣するしくみがあり、浪江町にもフェロシップを派遣しています。2017年6月までフェロシップとして浪江町に勤務した山田直行さんからの活動報告です。

浪江町は全町域が避難対象となったため、震災以降町役場も浪江町から二本松市内に移って仮役場が設置されていました。ちなみに2017年3月31日には、浪江町の町の東側20%ほどが避難指示を解除され、町役場も浪江町内にほとんどの機能が移されています。

町民が避難でバラバラになった自治体の中でのタブレットを用いたきずな再生・強化事業の話や、エンジニアとして被災自治体に勤めることなど非常に貴重な記録です。

▼写真2 Code for Numazuの活動報告マンガ



注1 <https://code-for-doujin.booth.pm>

●チャレンジ!! オープンガバナンス2016 報告記

Code for Niigataからは2本の記事が。「チャレンジ!! オープンガバナンス2016」は各種公開データを用いた地域課題解決を促す目的のコンテストで、Code for Niigataは新潟大学大串ゼミとの混成チームでの出場体験記です。なんと連携体制賞を受賞しています。

●Code for Niigata 成果物の紹介

Code for Niigataが活動の中で作った成果物が紹介されています。次の4本です。

- バスの時刻表検索サービス (公開停止中)
- pics : 画像に位置情報やコメントを付けて地図上に表示するシステム
- 相関を見る
- 引越しメーター

「相関を見る」と「引越しメーター」(写真3)は「チャレンジ!! オープンガバナンス2016」で受賞につながった成果物とのことです！

▼写真3 引越しメーターの記事

第5章 Code for Niigata 成果物の紹介 5.3.3. 相関を見る & 引越しメーター

自分に近い感覚の町はどこだろう「引越しメーター」
もう一つ、COGのために作ったのが「引越しメーター」です。データソースとして、「相関を見る」と同じものを使い、新潟市とそれ以外の19政令都市の数値比較などをします。

札幌市から新潟市へのお引越し
ようこそ新潟市へ！
札幌市と新潟市を比較すると次のような結果になりました。

ここが似ている！札幌市と新潟市
・公立図書館の数(人口あたり)がほぼ同じです(札幌市: 2.32館/10万人、新潟市: 2.47館/10万人)。両市とも、政令市の中では比較的に図書館が多い都市です(国年平均1.48館/10万人)
・美味しいラーメン屋さんがたくさんあり、都市の内街をのんびり歩くと人気があります。

比較グラフ
新潟市と20政令市での数値比較を求めました。この比較グラフをご覧ください。

項目	札幌市	新潟市
人口	194万人	81万人
市の一般会計予算額(平成28年度当初)	9,366億円	3,593億円
上場企業数	38社	16社

図 5.4 引越しメーター

これはコンセプトベースのプロダクトのため、完成品ではないのです。ただ、やりたいことはおのわね再現できているということで、雰囲気はわかっていただければいいでしょうか。今後は、固定になっている新潟市だけでなく、様々な都市同士での比較機能を通り込むことを予定しており、こういった都市がどういった特徴だから自分には合おう、旅行にでもいってみたいや、という展開になってくれるのであれば、うれしいです。

●オープンデータ半自動作成の技術

技術系同人誌らしいソースコードも出てくる記事です。Facebookのオープンデータ界隈で有名(?)なハッシュタグ「#オープンデータソフトクリーム」。このデータを自動生成しようというものです。

▶ Vol.2

Vol.2では、Code for Japan 代表の関治之さんから熱い序文ももらえました。

●ぎばさちゃん「ふくいち」へ福島第一原発見学記

先日縁あって福島第一原発を見学する機会を得ました。バスの中からの見学ですが、実際に発電所構内に入り原子炉建屋の近くへも行っています。そこでわかったのは確実に作業は進んでいるし、状況もよくなっているということ。そして、自分自身東日本大震災被災者でありながら、原発関係の知識があまり更新されてなかったことです。

そこで、ぎばさちゃんにマンガで語ってもらおうという手法を取りました(写真4)。マンガの冒頭に、わざわざ東北物産展の場で「東北の海のものなんか売ってるのか？ 放射能はどうなんだ？」と聞いてくる人がいますが、これは実際にそういうことがあったのです。ぎばさちゃんが主人公ですが内容は実話の組み合わせなのです。

●Code for Numazu と WikipediaTown

Code for Numazuで行っているWikipediaTownのレポートです。WikipediaTownは地域の情報をWikipediaに入力していくものです。沼津市に多くある古墳の情報を入力するために行ったことを、ノウハウとともに書かれています。余談ですが、マスコットキャラの古墳ちゃんたちがかわいいです！

●Code for Niigata ~継続的な活動のために~

Code for Niigataからは継続的な活動のために取り組んでいることが紹介されました。「何のために活動をするのか?」「みんなで共有の『みんな』とは?」など代表の山田道也さんがCode for Niigata

